

シングルマザーのための Excel 研修

- 「みんなで MOS!」プロジェクト -

2016 年 7 月 27 日

特定非営利活動法人ウィメンズアイ（宮城県登米市、代表理事石本めぐみ）は、キャピタル・インターナショナル株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長トーマス・クワントリル）の助成により、宮城県北のシングルマザーを対象に収入向上につながるスキルアップ研修のパイロットプロジェクト「みんなで MOS!」を開催いたします。

- 対象者： 宮城県登米市・南三陸町近郊のシングルマザー
講習内容： MOS（マイクロソフト・オフィス・スペシャリスト）Excel 2013 資格取得を目指します。
会場： 宮城県登米市内（とめ女性支援センター、てのひらに太陽の家、他）
講習日程： 2016 年 6 月～12 月の 6 ヶ月間、週末の 9:00～15:00
定員： 7 名
受講料： 1 講座 500 円
託児： 正式な託児ではありませんが、子どもプログラムを併催します。
問い合わせ先： ウィメンズアイ石本（info@womenseye.net）

主催： 特定非営利活動法人ウィメンズアイ

助成： キャピタル・インターナショナル株式会社

協力： 特定非営利活動法人しんぐるまざあずふぉーらむ、宮城県母子寡婦福祉連合会

<背景>

日本の母子世帯の就労率は 80.6%と世界的に見ても非常に高い一方、半数が非正規のため年収が低く、平均年間就労収入¹181 万円は子どものいる一般世帯の稼働所得²の 26%に留まります。厚生労働省によると「より収入の高い就業を可能にする支援が必要」³です。昨今、「子ども食堂」など子ども支援は全国的に盛んになっているものの、就労収入の向上に直結する技能や資格取得支援など、貧困そのものにも取り組む必要があります。生活費にも困ることのある母子世帯の収入向上と安定が、子どもへの貧困の連鎖を食い止めることにつながります。とりわけ、東北被災地では年間収入が全国平均よりも低く、若い世代も PC スキルを習得していない人が多く、就労や制度などの情報収集に不利な状況に置かれています。MOS 資格取得を通じて PC スキルと情報へのアクセスを身につけることは、情報格差の解消や発信力の獲得など母子世帯への直接的なエンパワーメントになります。

¹ 母または父自身の就労収入

² Earned income

³ 厚生労働省「ひとり親家庭等の支援について」、平成 28 年 1 月、<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11900000-Koyoukintoujidosukateikyoku/0000100019.pdf>